

授業科目	* 観光学入門				単位	2		
履 修	必修	関連資格			ナンバリング	TO11101J		
開講年次	1年	開講時期	前期	該当DP	DP1-3 DP1-4 DP4-1 DP4-2 DP5-2			
担当教員	劉 明							
授業概要	すべての観光系の授業の基礎とも言える「観光学入門」では、観光学の概念、観光と現代社会の関わり、観光の様々な効果及び観光の仕組み、観光資源と観光対象を勉強すると同時に、旅の歴史、観光と情報、観光政策と観光行政、観光マーケティング、様々な観光ビジネスを学ぶ。また、観光文化学科でいかなる観光の学習・研究をするのか。その学習や研究と将来の仕事には、どのようなつながりがあるのか。また、卒業後はどのような仕事に就くのか。こうした学生達の疑問にこたえる。さらに、観光と異文化交流の関係を考察し、九州・京都・東京での研修について学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光の概念・意義・構造を理解することができる。 2. 観光資源と観光対象を理解することができる。 3. 観光の歴史及び観光と情報の内容を理解することができる。 4. 観光政策と観光行政を理解することができる。 5. 観光マーケティングと観光ビジネスを理解することができる。 6. 観光研修の意義を理解することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)			10		5		15	
知識・理解 (DP1-4)			20		10		30	
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)			10		10		20	
態度 (DP4-2)			10		5		15	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			10		10		20	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
示されている6つの到達目標を達成すると同時に、習得した知識を研究に反映させることができる。				示されている6つの到達目標を達成することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意を説明する。	講義	該当部分の復習	30
2	観光の概念・意義・構造	講義	該当部分の復習	60
3	観光の様々な効果	講義	該当部分の復習	60
4	観光の仕組み(上)	講義	該当部分の復習	60
5	観光の仕組み(下)	講義	該当部分の復習	60
6	観光資源と観光対象(上)	講義	該当部分の復習	60
7	観光資源と観光対象(下)	講義	該当部分の復習	60
8	観光と情報	講義	該当部分の復習	60
9	様々な観光ビジネス	講義	該当部分の復習	60
10	観光政策と観光行政 (外部講師による講義〈予定〉)	講義	該当部分の復習	60
11	観光マーケティング(上)	講義	該当部分の復習	60
12	観光マーケティング(下)	講義	該当部分の復習	60
13	旅の歴史とこれからの旅行	講義	該当部分の復習	60
14	九州・京都・東京での観光研修について	講義	該当部分の復習	60
15	「観光学入門」のまとめ 本講義「観光学入門」で扱った内容を振り返り、総括する。	講義	総復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	観光と観光ビジネスに興味と理解が必要ある。			
テキスト	『観光学基礎』(株)JTB能力開発			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『観光学入門』(有斐閣)、『観光概論』(JHRS)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 旅をすること。 2. 観光書籍・雑誌・新聞をよく読むこと。 3. 少しでも長く勉強を続けること。 4. よく質問すること。 			
達成度評価に関するコメント	<ol style="list-style-type: none"> 1. 観光マーケティングが観光産業界に求められているので、しっかりと身に付ける。 2. 観光の本質は異文化交流であると言われてしているので、異文化交流に積極的に参加する。 			